

《第20回 春の縄文野焼き祭り》

● 縄文野焼き祭りとは？

10周年目を迎える猪風来美術館の『縄文野焼き祭り』。遙かなる古代の縄文人は縄文土器や土偶の多彩な文様に生命の豊饒への祈りを込め、窯を使わずに天と地、太陽と風と火の力による縄文野焼きで焼き上げました。生命と魂の躍動する独自の縄文造形と文様は現代の人々を魅了し、未来を拓く「根源への回帰」へ共感の輪が広がっています。

～うららかな縄文の春～

やわらかな春空の青にツツジの薄紫や山桜のピンクがそよぎ、谷間に吹き渡る風にシロバナタンポポが揺れています。春の女神にも思わず花の笑みが浮かびます。法曾原の野で縄文野焼きの炎をかこみ、あなたも縄文の心と熱気を体感してみませんか？ どうぞお誘い合わせのうえお越しください。

縄文体験コーナー

● 縄文土器で煮炊きをしよう！

縄文土器は竪穴住居の炉にすえて煮炊きをする鍋に使われていました。まわりで薪を燃やして水を沸かし野菜・山菜や肉を入れればたっぷりの汁物のできあがり。みんなで野性的な味わいを堪能しよう！

□ (12時頃～／無料)

販売コーナー

地元の法曾焼同好会が、昼食やお飲み物のほか、法曾焼茶碗や法曾茶を販売いたします。どうぞご利用ください。

● 粘土でつくろう！

縄文粘土でちいさな土器や土偶・オブジェなどを作ってみよう。縄目文様を入れると縄文の魂が宿ります！

□ (随時／300円)

● 石でまが玉をつくろう！

まが玉は生命の根源のかたち。しあわせを祈り魔を祓う力が宿っています。

□ (随時／黒・ピンク・白各500円)

■日時 2015年4月26日(日) AM9時～PM4時(雨天時29日)

■会場 猪風来美術館前広場

入場無料(館内は観覧料が必要です)

■主催 猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)・法曾焼同好会

■お問い合わせ先 猪風来美術館 TEL・FAX 0867-75-2444
〒719-2552 岡山県新見市法曾 609



館内案内

館内の展示もこの機会にぜひご観覧ください。常設展の猪風来作品のほか、むらかみよしこタペストリー展『いのちの祝祭』を開催中。手紡ぎ・草木染・手織りによる夢幻色彩が目に鮮やかです。(観覧料が必要です)



■ アクセス

岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分

